

# Okinawan Splendor (6) Tetsuya Koja

—出版業界への提案—

心の病の情報誌  
『こころの元気+(プラス)』  
を買う人が増えています。



僕も、  
統合失調症  
です。

統合失調症は日本の場合、  
100人に一人がその病に  
なるそうです。

単純計算をすると、

日本の人口  
一億二千万人  
の内、



120万人が  
その病の  
当事者です。



でも、統合失調症だけが  
心の病ではありません。

うつ病やパニック障害や  
その他、色々な心の病が  
あります。

統合失調症者は120万人、  
これに他の心の病  
(鬱やパニック障害やその他)  
を加えると、

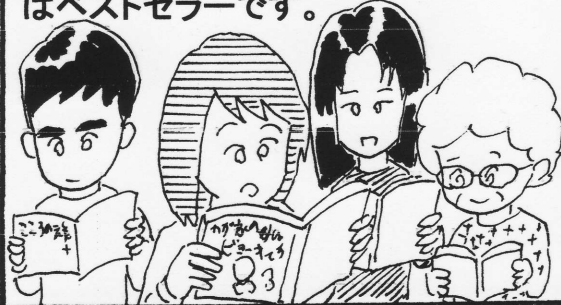


心の病の当事者は、  
数百万人になるかと  
思います。

或いは1千万人を超える  
かも知れません。

ここでもし、どこかの出版  
社が心の病に関する雑誌  
を出せば、心の病の当事  
者(数百万人)が買って読  
むかも知れません。

雑誌『こころの元気+』は現在、部数  
が増えています。  
そして、中村ユキ先生の漫画  
『わが家の母はビョーキです』  
はベストセラーです。



今後、心の病関連の本や雑誌が出たら  
数百万人(或いは1千万人以上)の当事  
者の方達やその家族、そして福祉関係  
者や精神医療関係者達は巨大市場に  
なると思います。これは、出版業界にも  
大きなビジネスチャンスになるのでは？



こんな感じで心の病(統合失調症や鬱などetc...)に関心を持つ人が今以上に  
増えれば当事者やその家族の方達にとって、一筋の光になるかもしれません。